



No.49

平成30年4月24日発行

おい町

# 議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



## UMINPIA OHI MARIN



うみんぴあ大飯マリーナ

### Contents

30年度当初予算	町長選挙により骨格予算で編成……………	2
3月定例会	条例改正・当初予算について質疑……………	4
一般質問	産業団地の進捗状況 など 4人登壇……………	9
活動報告	委員会調査など活動状況について……………	13
追 跡	山林の境界整備について……………	15

# 平成30年度当初予算

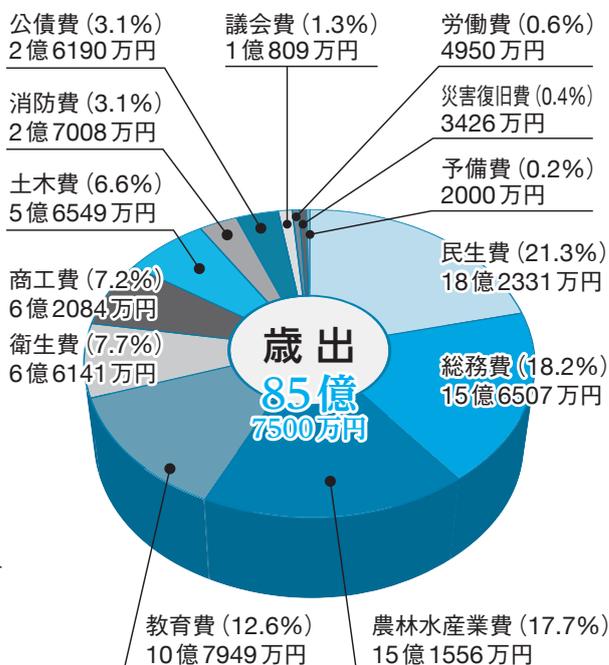
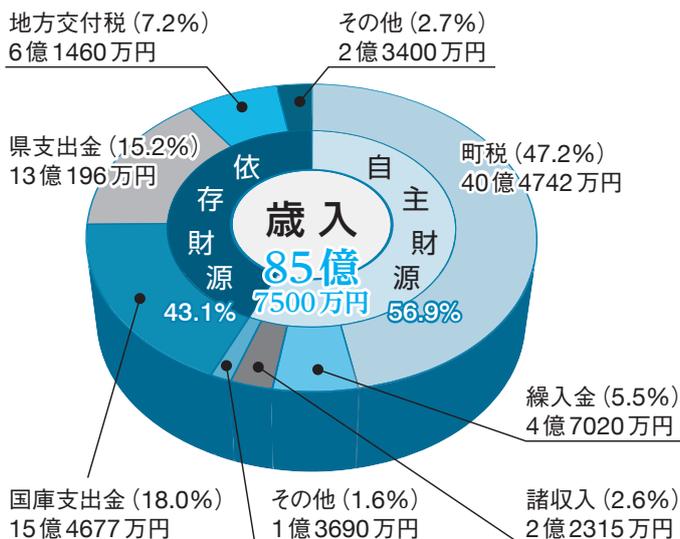
## 予算総額 113億9136万円

骨格予算のため前年比17億6281万円の減

一般会計 85億7500万円

特別会計 28億1636万円

### 一般会計



### 特別会計

会計	当初予算額		
	本年度	前年度	増減率
後期高齢者医療	8742万円	8310万円	5.2%
国民健康保険	10億6765万円	10億6461万円	0.3%
国民健康保険診療	9693万円	9978万円	△2.9%
介護保険	9億4499万円	9億4949万円	△0.5%
介護サービス	522万円	485万円	7.6%
簡易水道	2億1979万円	2億6651万円	△17.5%
農業集落排水	3億0340万円	2億9415万円	3.1%
特定環境保全公共下水道	9096万円	9668万円	△5.9%
合計	28億1636万円	28億5917万円	△1.5%

当初予算は、町長選挙を控えていたことから骨格予算として編成されました。

営等に係る補助金、緊急を要する修繕経費等が計上され、投機的経費や政策的経費及び新規事業は原則として予算計上は見送られています。

#### 用語解説

○一般会計と特別会計  
一般会計

地方公共団体において町民サービスの提供をはじめとする、行政運営の基本的な経費を計上している会計です。

#### 特別会計

特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要のある場合に設けられる会計をいいます。

#### ○自主財源と依存財源

歳入は、大きく「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

#### 自主財源 (56・9%)

町が自主的に収入することができる財源(町税など)のことです。

#### 依存財源 (43・1%)

国や県から交付される財源(国庫支出金など)のことです。

自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされています。

# 町内への進出4企業に助成

総額 **2億6564万9000円**

ここに

うみんぴあ(成海)

ホームプラザナフコ おおい店



ゲンキー うみんぴあ店



サニーハーバーマルシェ店

名田庄下区



小浜製網(株)

町では「企業振興助成制度」を設け、用地・建物の取得・用地造成・建物設備・借地賃借料・町内の新規雇用等への助成を行います。

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

## 平成30年 第1回(3月) 定例会 議案審議結果

議案番号	件 名	審議・付託	議決結果	参照先
議案1	平成29年度一般会計補正予算(第8号)	〈予算〉	原案可決	P5
議案2	平成29年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	
議案3	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案4	平成29年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案5	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		原案可決	
議案6	平成29年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)		原案可決	
議案7	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)		原案可決	
議案8	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)		原案可決	
議案9	平成29年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	
議案10	町立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例の制定について	〈総務〉	原案可決	P6
議案11	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について		原案可決	
議案12	個人情報保護条例及び情報公開条例の一部改正について		原案可決	
議案13	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案14	国民健康保険税条例の一部改正について		原案可決	
議案15	国民健康保険条例及び国民健康保険基金条例の一部改正について		原案可決	
議案16	こども家族館運営委員会設置条例の一部改正について		原案可決	
議案17	後期高齢者医療に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案18	介護保険条例の一部改正について		原案可決	
議案19	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P6~P7
議案20	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案21	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について		原案可決	
議案22	地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P7
議案23	平成30年度一般会計予算	〈予算〉	原案可決	P7~P8
議案24	平成30年度後期高齢者医療事業特別会計予算		原案可決	
議案25	平成30年度国民健康保険事業特別会計予算		原案可決	
議案26	平成30年度国民健康保険診療事業特別会計予算		原案可決	
議案27	平成30年度介護保険事業特別会計予算		原案可決	
議案28	平成30年度介護サービス事業特別会計予算		原案可決	
議案29	平成30年度簡易水道事業特別会計予算		原案可決	
議案30	平成30年度農業集落排水事業特別会計予算		原案可決	
議案31	平成30年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		原案可決	
議案32	福井県市町総合事務組合理約の変更および財産処分について		〈総務〉	
議案33	若狭地区障害者介護給付費等支給審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加および同審査会共同設置規約の変更について	〈総務〉	原案可決	
議案34	平成29年度一般会計補正予算(第9号)	〈全協〉	原案可決	—
—	選挙管理委員会委員の選挙		当 選	
—	選挙管理委員会補充員の選挙		当 選	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣	—

※略称 〈全協〉議員全員協議会、〈総務〉総務常任委員会、〈予算〉予算決算常任委員会

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

賛否が分かれた議案

	細川	原田	早川	藤原	辻	尾谷	森口	猿橋	浜上	今川	森内	松井	中本
議案10	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●	○	○	○
議案11	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●	○	○	○

○は賛成、●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席 (※浜上議長は採決に加わらない。)

第1回会  
第1例

平成30年度当初予算などを審議

●議案1号〈予算〉

平成29年度おおい町一般会計補正予算(第8号)

2億6734万円増額

【主な歳出内容】

○防災対策施設整備事業

防災用備品の購入や町民センターにおける放射線防護対策工事の調査設計および工事費用。

3億300万円

○定置漁業・底曳網漁業

振興対策事業

定置漁業用網の改修を補助するもの。

1510万円

○除雪対策事業

除雪委託料の追加。

1280万円

○現年発生林道施設災害

復旧事業

林道小屋石山線、新鞍谷線の災害復旧工事を行うもの。

7000万円

【主な質疑】

問 国から各県に特別交付税が交付されているが、台風21号の被害に対する交付税は配分されるのか。

答 29年度分については、816万円交付されている。今後県に要望していく。

問 総合町民センターの放射線防護対策工事について、収容の対象となるのはどの地域で、何名程度の収容を想定しているのか。

答 本郷地区を想定しており、総合町民センターでは従事者を含め220名が1次収容施設として受け入れることができるようになる。

総合町民センター



問 林道新鞍谷線で災害復旧工事を行うのが、原形復旧で行うのか。

答 基本的には原形復旧での工事となる

問 現場精査の結果、一部擁壁を新設し対応する。

答 路線バス乗継支援モデル事業のタクシー利用実績は、

利用登録者は15名で、実際利用された方は8名となっております。

自宅まで60回の利用があった。

【全会一致・可決】

●議案2号〈予算〉

平成29年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

324万円増額

【全会一致・可決】

●議案3号〈予算〉

平成29年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

2038万円減額

国・県・国保連合会の交付金確定によるもの。

【全会一致・可決】

●議案4号〈予算〉

平成29年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)

168万円増額

【主な質疑】

問 医療用機械器具を補正予算で計上する理由は、

名田庄診療所の自動血球計数測定装置が壊れたため、新規に購入する。

【全会一致・可決】

●議案5号〈予算〉

平成29年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

3167万円減額

【全会一致・可決】

主な減額の要因は介護サービス給付費の見込額の確定によるもの。

●議案6号〈予算〉

平成29年度おおい町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

72万円減額

【全会一致・可決】

●議案7号〈予算〉

平成29年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)

158万円増額

【全会一致・可決】

●議案8号〈予算〉

平成29年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)

200万円減額

【全会一致・可決】

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

●議案9号〈予算〉

平成29年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

156万円増額

【全会一致・可決】

議案名はP4の3月定例会審議結果一覧を「ご参照ください。」

●議案10号〈総務〉

【条例の制定】

おおい町立名田庄保育園が、おおい町立幼保連携型認定こども園に移行するため、必要な条例を制定するもの。

【主な質疑】

問 認定こども園に移行するにあたり、新たな人員の配置は必要となるのか。

答 特別な職員の配置は必要ない。

【賛成多数・可決】

●議案11号〈総務〉

名田庄こども園



【条例の制定】

居宅介護支援事業者の指定権限が県から町に移譲されるため、その指定や運営等の基準を示す、新たな条例を制定するもの。

【賛成多数・可決】

●議案12号〈総務〉

【条例の一部改正】

個人情報保護に関する法律で、個人情報の定義が明確化されたことから、関係する条例を一部改正するもの。

【全会一致・可決】

●議案13号〈総務〉

【条例の一部改正】

職員が保育所等の利用を希望し、申し込みはしているが利用できない場合には、育児休業を再度取得(延長)できるように条例の一部を改正するもの。

【主な質疑】

問 申し込みしているが、利用できない場合、どのような確認をするのか。

答 職員に対する確認や、申し込み先の状況確認を行い、判断することとなる。

【全会一致・可決】

●議案14号〈総務〉

【条例の一部改正】

国民健康保険事業の運営が町から県に移行するため、所要の改正を行うもの。

【全会一致・可決】

●議案15号〈総務〉

【条例の一部改正】

町の国民健康保険運営協議会を、法に基づく市町村の協議会と定め、基金の設置目的を広域化後の制度にあわせるもの。

【全会一致・可決】

●議案16号〈総務〉

【条例の一部改正】

こども家族館運営委員会の設置を5年間延長するもの。

【全会一致・可決】

●議案17号〈総務〉

【条例の一部改正】

法律の改正に伴い、後期高齢者が他県の病院等の施設に入所しても、元住所地の保険者が給付費を負担すること(住所地特例)から条例の一部を改正するもの。

【主な質疑】

問 住居地特例によるメリットは。

答 施設や病院がある住所地保険者の、負担増加を防ぐことができる。

問 当町の該当者は。

答 利用者は県内施設に入所しており、住所地特例の該当者はいない。

【全会一致・可決】

●議案18号〈総務〉

【条例の一部改正】

介護保険料を改定するため、条例の一部を改正するもの。

・介護保険料基準額

月額5,600円

← 月額6,200円

【主な質疑】

問 介護保険の準備基金に、一般会計から繰り入れできないのか。

答 一般会計からの繰り入れは認められず、保険料徴収で

の黒字分のみを基金へ繰り入れできる。

問 37年度に7,200円まで上昇すると予測されているが、それが最大値と考えているのか。

答 団塊の世代が高齢化する人口形態の予測により、そのように考えている。

問 出来る限り介護保険料が上がらないように計画するべきでは。

答 介護サービスの充実と、利用者の増加でその分負担が増える。介護保険料上昇の抑制は健康づくりと考えるので、バランスの良い計画を考えていきたい。

【全会一致・可決】

●議案19号から21号(一括提案)〈総務〉

【条例の一部改正】

高齢者や障害者が共に利用できる「共生型サービス」や医療と介護の複

合的ニーズに対応する新たな施設サービス「介護医療院」の創設等について、およびそれに付随する措置や基準等、所要の改正を行うもの。

【主な質疑】

介護医療院とはどのような施設か。

医療と介護が必要な入居者への施設サービスで、介護療養病床が廃止されるのに伴い介護医療院に移行する。

共生型サービスは視聴障害者の受け入れもできるのか。

サービスを提供する事業者が、基準に基づき体制を整えれば受け入れできる。

【全会一致・可決】

【議案22号〈総務〉】

【条例の一部改正】

地域包括支援センターに配置する、主任介護支援専門員の定義が改めら

れたことにより、条例の一部を改正するもの。

【全会一致・可決】

30年度当初予算審議

【議案23号〈予算〉】

平成30年度おおい町一般会計予算

85億7500万円

【主な歳出内容】

○ふるさと納税推進事業  
ふるさと納税者へ町の特産品等を贈呈するもの。  
1155万円

○バス対策事業  
路線バスの運行および路線バス乗継支援モデル事業に係る経費。  
4513万円

○防災対策事業  
防災活動を総合的、計画的に行うもの。  
3857万円

○地域活性化イベント支援事業  
若狭おおいのスーパー大火勢および名田庄星のフイエスタを実施するもの。  
7000万円

○水産業振興地域おこし協力隊設置事業  
漁業活性化を図るため、水産振興に携わる地域おこし協力隊を設置するもの。  
862万円

○空き家等対策事業  
町内に点在する空き家の利活用の推進および空き家対策特別措置法による実態調査の費用。  
624万円

○子ども家族館管理運営事業  
福井県子ども家族館の指定管理者として、町が管理運営を行うもの。  
9523万円

○総合施設「なごみ」医療関連部門等管理運営委託事業  
なごみ診療所などの管理運営を公益社団法人地域医療振興協会に委託し、効率的・安定的な運営を図るもの。  
2億6874万円

○福井国体開催事業  
今年開催される福井しあわせ元気国体のレスリング競技・軟式野球競技の実施に係る費用。  
1億5380万円

○企業振興対策事業  
進出企業への助成や企業誘致を推進するための経費。  
862万円

○チャレンジショップ整備事業  
気軽に創業を体験することが出来る「チャレンジショップ」の整備に向けた「デザインガイドライン」を策定するもの。  
817万円

○バス対策事業における補助金の内訳

大飯路線に4194万円、名田庄路

の。

817万円

の。

線に266万円、乗継支援事業委託料は51万円を計上している。



放射線防護施設の点検について、どのようなことを確認するのか。

放射線物質を含んだ外部空気をろ過するフィルターや非常用発電機の保守点検を行う。

ふるさと納税推進事業の減額理由

返礼品の見直しや、納税金額が減っている。

なごみ診療所の外来患者数の推移は、平日の外来受診者の1日平均の推移は、25年度90人、26年度80人、27年度70人、28年度60人となっており減少傾向である。

商工会のうみんぴあ移転の方向性は、チャレンジショップと商工会との相互活用を考え、商工会でプロジェクトチームを作り、意見集約を行っている。

うみんぴあに3つの店舗が開店する。本郷地区の商店への影響は。

商工会とも打ち合わせを行っており、消費元氣フェア等の活性化施策を計画している。

産業団地関連の予算計上がされていないが、今後の計画は。

の。

の。

の。

の。

の。

の。

の。

の。

**答** 水源調査の結果を踏まえ基本設計を行う必要がある。必要に応じて補正予算を計上する。

**問** 国体のレスリング競技に係る費用の内訳は。

**答** 会場設営費で、マットステージのかさ上げ・映像システム費用として2800万円。多数の選手控え場所として屋外大型テントの設置費用を2000万円見込んでいる。

【全会一致・可決】



レスリングプレ大会の様子

●議案24号〈予算〉

平成30年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計予算

8742万円

【全会一致・可決】

●議案25号〈予算〉

平成30年度おおい町国民健康保険事業特別会計予算

10億6765万円

【全会一致・可決】

●議案26号〈予算〉

平成30年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計予算

9693万円

【全会一致・可決】

●議案27号〈予算〉

平成30年度おおい町介護保険事業特別会計予算

9億4499万円

【全会一致・可決】

●議案28号〈予算〉

平成30年度おおい町介護サービス事業特別会計予算

522万円

【全会一致・可決】

●議案29号〈予算〉

平成30年度おおい町簡易水道事業特別会計予算

2億1979万円

【全会一致・可決】

●議案30号〈予算〉

平成30年度おおい町農業集落排水事業特別会計予算

3億340万円

【全会一致・可決】

●議案31号〈予算〉

平成30年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算

9096万円

【全会一致・可決】

●議案32号〈総務〉

「規約の変更および財産処分」

福井県市町総合事務組合から「こしの国広域事務組合」の脱退に伴い、規約の一部変更および、同組合の財産を福井県市町総合事務組合に帰属させるためのもの。

【全会一致・可決】

●議案33号〈総務〉

「規約の変更」

現在、小浜市、高浜町、おおい町で構成する若狭地区障害者介護給付費等支給審査会へ新たに若狭町が加入し、4市町で審査会を運営するため、規約を一部変更するもの。

【全会一致・可決】

【主な質疑】

【問】

審査会を若狭広域行政事務組合へ今後移行するに当り、どのような計画になっているのか。

【答】

移行の検討を開始する時期は、事務レベルでは、31年度を目途に考えている。

【全会一致・可決】

●議案34号〈全協〉

平成29年度一般会計補正予算（第9号）

橋梁維持補修工事（小尻橋）において、工期の延長により、その予算の一部を繰越すもの。

【全会一致・可決】

【選挙管理委員の選挙】

おおい町選挙管理委員および、補充員の任期が3月8日に満了を迎えることから、選挙が行われました。

地方自治法の規定により選挙管理委員は、普通地方公共団体の議会において選挙を行い決定するとあります。

地方自治法第118条第2項には、議員中に異議がないときは、指名推選方法を用いることができ、第3項には、被指名人を会議に諮り、議員全員の同意があつた者を当選人とすることができるため、指名推選の方法を用いて選挙を行いました。

その結果、おおい町選挙管理委員には次の方々が当選しました。

【選挙日】

平成30年2月22日

【選挙管理委員会委員】

おおい町小堀

永井 眞一

おおい町岡安

芝原百合子

おおい町大島

寺本 清二

おおい町名田庄虫鹿野

小森 哲彦

【補充員】

おおい町名田庄三重

小野 与三

おおい町万願寺

福尾 達雄

おおい町本郷

渡辺 祥磁

おおい町名田庄下

森 一博

3月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。

### 産業団地整備の進捗状況と今後の計画について

**町長** 大飯・高浜インター付近での地質や水源調査が終了し、今後、基本設計業務に入りたい



藤原 義隆

**問** 町では、新たな雇用の確保に向けて産業団地の整備に取り組んでいるが、現在の進捗状況と今後の計画は。

**答** (町長) 第2次おい町総合計画において雇用機会の拡大を目的として産業団地の造成と企業誘致を掲げている。検討の結果、インター付近を最有力候補地として基礎調査を実施し、地質や水源調査については概ね良好との報告を受けている。

今後、最終的に予定地を確定し、議会をはじめ、地区や地権者の方々に説明を行った上で基本設計業務に入りたい。

**問** 産業団地に係る水源調査のお知らせの文書が周辺地域に配布されているが、調査場所として約4・3%が明確に赤色で示されている。多くの方々がこの場所に決定したものと誤解をしており、議会は広い範囲での説明しか受けていないため、適切な情報を示し、課題を共有しながら進めるべきではないか。

**答** (町長) 赤色で示されているのは、調査場所として約4・3%が明確に赤色で示されている。多くの方々がこの場所に決定したものと誤解をしており、議会は広い範囲での説明しか受けていないため、適切な情報を示し、課題を共有しながら進めるべきではないか。

が足りなかったと認識しており、議会に対しても

**問** 30年度に基本設計業務に入るとの事だが完成はいつになるのか。

**答** (町長) 30年度に基本設計業務に入るとの事だが完成はいつになるのか。住民理解など課題は多くあるが、34年度には分譲開始ができるよう進めていきたい。

### 企業誘致について

**問** 企業誘致について現在の取り組み状況は。

**答** (町長) 企業誘致について現在の取り組み状況は。

**答** (町長) 29年度において、名古屋での企業立地セミナーに出向きトップセールスを行った。今後は『企業誘致支援サービス事業』を活用し、全国の優良企業1万2千社に、アンケート調査を実施し、興味を示した企業に対し聞き取りを行う。産業団地決定後には、パンフレットなども更新し積極的にPR活動をしていきたい。

**問** 企業誘致を促進するため、県内外の大学との連携や、官民一体となった協議会の設立なども必要ではないか。

**答** (町長) さまざまチャンネルを活用し町にとって効果のある手段を考えていく。

**問** 兼務の企業誘致対策室(2名)で企業誘致について取り組んでいるが、体制の強化を図るべきではないか。

**答** (町長) 兼務の企業誘致対策室(2名)で企業誘致について取り組んでいるが、体制の強化を図るべきではないか。

**答** (町長) 企業誘致は重要な課題であり有効に機能する組織が必要であると考えている。

### 周辺道路の整備について

**問** 昨年の台風21号の被害により、県道坂本・高浜線の佐畑地係で片側通行となつていていつ頃復旧するのか。

**答** (建設課長) 県からは9月の福井国体開催時までには復旧予定と聞いている。

**問** 通行止め時には福谷区内の町道を県内外の車が往来し危険な状態であった。県道の代替道路と位置づけ町道の改修をすべきでは。

**答** (建設課長) 今後の検討課題としていきたい。

### 住宅地の整備について

**問** 佐分利地区での住宅地確保について

**答** (建設課長) 本地区における住宅分譲地の必要性については認識しており、佐分利地区区長連絡協議会から候補地の提案があり、その事業化の可能性について検討していきたい。

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

# 「うみんぴあ大飯」への公共交通は

**町長** 住民ニーズと費用対効果を勘案しながら地域公共交通会議を通じて検討を行う



原田 和美

域公共交通会議を通じて検討していく。

**問** 路線バスが運行していない区があることや、観光スポットへの行きやすさ等を考えて、大飯地域全体の路線バスの運行を見直すべきではないか。

**問** 「うみんぴあ大飯」に新たに3店舗が開業するが、現在、路線バスは乗り入れていない。利用者の利便性を高めるために、「うみんぴあ大飯」へのバス路線を考えるべきではないか。

**答** (町長) 3店舗の開業で、「うみんぴあ大飯」の環境が変化することから、今後、交通弱者の利便性や店舗・施設の利用促進のための仕組みづくりは重要である。住民ニーズと費用対効果を勘案しながら、地

**答** (町長) 生活や観光というさまざまな要素を踏まえて、抜本的な見直しは必要である。今後デマンドバス<sup>※</sup>を検討する時期に来ていると認識している

**問** 「うみんぴあ大飯」での民間主体の「買い物バス」のような送迎サービスの実施について働きかける考えはないか。

**答** (町長) 片方だけがよくなるのではなく、町に訪れる人を地元のビジネスチャンスに変えていくことが必要。旧丹後街道としての本郷の商店街への動線を考え、周遊滞在型の観光客誘致を進める。今後、産業振興協議会、ポイントカード会、地元商店との意見交換会を行い、商工会の取り組みと併せて有

**答** (町長) 片方だけがよくなるのではなく、町に訪れる人を地元のビジネスチャンスに変えていくことが必要。旧丹後街道としての本郷の商店街への動線を考え、周遊滞在型の観光客誘致を進める。今後、産業振興協議会、ポイントカード会、地元商店との意見交換会を行い、商工会の取り組みと併せて有

**問** 「うみんぴあ大飯」の3店舗開業による人や物の動きと、地元商業への影響について、今後の取り組みは。

**答** (町長) 片方だけがよくなるのではなく、町に訪れる人を地元のビジネスチャンスに変えていくことが必要。旧丹後街道としての本郷の商店街への動線を考え、周遊滞在型の観光客誘致を進める。今後、産業振興協議会、ポイントカード会、地元商店との意見交換会を行い、商工会の取り組みと併せて有

**問** 「うみんぴあ大飯」へ行きやすい道路や踏切の改良について、町の計画はあるか。

**答** (建設課長) 自動車では、国道の東西2ヶ所の信号から進入でき十分対応できると考えている。徒歩や自転車では、佐分利川河口のガード下を抜ける以外は、踏切や国道の横断が必要で利便性に劣る。国道やJR踏切の拡幅は現状では大変難しいが、今

**答** (町長) 地元ならアイディアはいろいろ考えられる。連携した取り組みが必要である。

効な施策を考えていく。

**問** 「うみんぴあ大飯」へ行きやすい道路や踏切の改良について、町の計画はあるか。

**答** (建設課長) 自動車では、国道の東西2ヶ所の信号から進入でき十分対応できると考えている。徒歩や自転車では、佐分利川河口のガード下を抜ける以外は、踏切や国道の横断が必要で利便性に劣る。国道やJR踏切の拡幅は現状では大変難しいが、今

**問** 「うみんぴあ大飯」の中には、道路標識や案内標識がなく、初めて来た人に道が分かりにくい。この整備についてはどう考えているか。

**答** (建設課長) 標識については法規制があり、今後の人の流れを見ながら検討していく。

**問** 安全な道路環境と案内標識が整備できれば、ウォーキングやポイントラリー等のイベントによる町おこしができるのでは。

**答** (町長) 地元ならアイディアはいろいろ考えられる。連携した取り組みが必要である。

**問** 小中学校における保護者負担について、学校教育に必要な経費について、町の公費と私費の負担区分の考え方は。

**答** (教育長) 児童生徒が個別に使用する学習ドリルやプリント等の補助的な教材や消耗品については、保護者負担としている。

**問** 町では、学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。

**答** (町長) 学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。



うみんぴあ大飯内の港内道路

小中学校における保護者負担について

**問** 学校教育に必要な経費について、町の公費と私費の負担区分の考え方は。

**答** (教育長) 児童生徒が個別に使用する学習ドリルやプリント等の補助的な教材や消耗品については、保護者負担としている。

**問** 町では、学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。

**答** (町長) 学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。

**問** 町では、学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。

**答** (町長) 学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。

**問** 町では、学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。

**答** (町長) 学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。

**問** 町では、学校毎に一定の公費負担もしており、近隣の市町に比べて手厚い施策を講じている。

※1 デマンドバス  
利用者の要望に応じて適時ルートを変えて運行するバス

# 大飯発電所1・2号機廃炉の財政影響は

**町長** 新たな財源確保は最重要課題。住民サービスに大きな影響を与えないようしっかりと取り組む



尾谷 和枝

**問** 大飯発電所1・2号機廃炉による町財政への影響は。

**答** (町長) 廃炉によって、固定資産税1億円、電源立地地域対策交付金約10億2900万円、核燃料税交付金約1億8900万円の合計約13億1800万円の収入減になると推計している。

**問** 収入減に対して、今後の財源確保の方向性は。

**答** (副町長) 新たな廃炉交付金(※)を約7億円と見込んでいる。

財源確保は最重要課題であり、国・県の補助事業の積極的活用や既存基金の活用、有利な地方債の借入検討などの財源確保に務める。併せて、歳出費用の圧縮・事業の集約・補助事業の見直しなどを検討する必要もあるが、住民サービスに大きな影響を与えることがないようしっかりと取り組む。

**問** 廃炉交付金の交付期間は10年となっているが、廃炉には30から40年かかることから、交付期間の延長を国に求めて行くべきではないか。

**答** (町長) 廃炉の影響は非常に大きいため、町として交付期間の延長を経済産業大臣に要請した。さらに、関係機

関とも連携し、廃炉の影響が少なくなるよう要請活動等を粘り強く行っていく。

**問** 既に策定済みの町の総合計画等への影響は。

**答** (町長) 経済効果を中長期で捉え、経費の圧縮などで総合的に影響を回避する。

**問** 廃炉による地元企業への影響は。

**答** (町長) 廃炉ビジネスなどを新たなチャンスと捉え、地元企業が中心となって参入できるような支援策を講じることができている。

**問** 新たに、エネルギー産業などの拠点化を進める考えは。

新たな、エネルギー産業などの拠点化を進める考えは。

**答** (町長) 新たなエネルギー産業などの可能性を検討していく段階にある。今後の方向性を見極め、ビジネスチャンスに結びつける努力を不退転の決意で取り組む。



※1 廃炉交付金  
原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金。廃炉決定から10年間交付される

## 職員の資質向上と役場改革について

**問** 職員研修や人材育成に力を入れ、職員員の資質向上を図ると共に、専門性を持った職員員の育成を考えてはどうか。

**答** (町長) 専門的知識を習得したスペシャリストを育成することも今の時代に必要と理解している。研修等の積極的な受講で資質の向上に努め、横断的な業務連携で、機能的な組織づくりに取り組む。

**問** 役場の機能を高めるため、今の課の構成が事業に合っているのかを見直す機構改革が必要ではないか。

例えば、子育てでは、課をまたいだ情報連携の不安や、一貫した支援が受けにくいなどのデメリットがある。また、広報・観光を統合し「おもてなし課」にするなど、現場の声を生かし柔軟に課の構成を変更してはどうか。

**答** (町長) 生活・年代という切り方の行政サービスでなく、人そのものをしっかりと支援することが必要である。各課・制度連携の中での取り組みと、抜本的な再編で組織を変えるなど、提案をしっかりと受け止める。

**問** 総合的な窓口へベテラン職員を配置することにより、活気のある役場になるのでは。

**答** (町長) 重要な視点で、ワンストップで終わる「人に優しい支援」の意識で、明るく親切的な役場を、より一層進める。

### 職員の視察研修等の問題報道について

**町長** 一部の不適切な処理については再発防止に努めたい



森口 精治

の管理職が2班に分かれて実施した。

**問** 町長選挙を控えている中で、今回のような視察は便宜供与等の誤解を生むことにならないか。

**答** (町長) 原子力の根幹を成す観光の重要性を考えて視察を行ったものであり、便宜供与にあたらぬ。

**問** 原子力の理解・町づくりの根幹を成す観光の重要性を考えて視察を行ったものであり、便宜供与にあたらぬ。

**答** (総合政策課長) 原子力関連施設の研修については、参加者からレポートという形で復命は出ている。それ以外の視察については、全ての課長から所感が提出されているものではない。

**問** 「地元住民から観光地を視察する必要はあるのか。観光旅行にしか見えない」との報道がなされている。このこととを、どう受け止めるのか。

**答** (町長) 今回の研修については、町づくりにとって重要な観光施設の視察も含んでいた。旅費精算の一部に不適切な処理があったことについては、再発防止にしっかりと取り組む。

**問** 事業者と行程を共にし、会食もしているが、倫理規定に違反することに於かないのか。

**答** (総務課長) 倫理規定において「本町が主催する行事に伴うものについては、この限りで無い」とあり、違反していない。

**問** 町は職員から、一人当たり9千円程度を返還させるとしたが、事業者が負担したバスタ代については、どう扱うのか。

**答** (総合政策課長) 事業者の原子力理解活動として実施されたもので、精算はしない。

今後、今回の研修については人事調査委員会に対応することであるが、委員会の構成は。

**答** (総務課長) 委員会は教育長、副委員長は教育長で他数名の委員で構成する。

**問** 研修視察の当事者が委員長、副委員長では住民理解は得られない。

**答** (町長) 顧問弁護士により法的な見地からもしっかりと検討を加えたものである。

**問** 信頼を損ねる事がないよう指導したとのことであるが、町長自らも襟を正していくべきでは。

**答** (町長) 信頼に耐えうるしっかりと

**問** 昨年10月に実施した職員の原子力関連施設視察の問題点は。

**答** (町長) 視察研修旅費の取り扱いに一部不適切な処理があった。

**問** 例年、今回のような視察が行われていないのに、なぜ実施したのか。

**答** (総合政策課長) 使用済燃料の中間貯蔵や高レベル放射性廃棄物の最終処分等について、自治体職員としての理解を深めるため、20名

**問** 町長選挙を控えている中で、今回のような視察は便宜供与等の誤解を生むことにならないか。

**答** (町長) 原子力の根幹を成す観光の重要性を考えて視察を行ったものであり、便宜供与にあたらぬ。

**問** 原子力の理解・町づくりの根幹を成す観光の重要性を考えて視察を行ったものであり、便宜供与にあたらぬ。

**答** (総合政策課長) 原子力関連施設の研修については、参加者からレポートという形で復命は出ている。それ以外の視察については、全ての課長から所感が提出されているものではない。

## 議会活動報告

### 産業建設常任委員会 所管事務調査

期 日 平成30年2月28日

場 所 おおい町内4施設

参加者 議員9名

現場視察先

#### ① おおい町一次産業活動拠点施設

町の一次産業の拠点づくりと交流機会の拡充を図るため、旧大島公民館および旧大島診療所を改修し整備中の施設を現場確認しました。

#### ② 青戸ベイサイドヒルズ

犬見地区で4月に開園予定の観光農園を視察しました。

レストラン、バーベキューハウス、ふれあい牧場なども整備され今後、交流施設、観光施設として県内外からの誘客に期待します。

#### ③ 町営長井住宅

29棟の新築整備を終え、現在入居が進んでいる町営住宅を視察確認しました。

#### ④ 館地区排水改善施設

浸水被害対策として30年度

完成を予定しており、現在の状況の説明を受け意見交換をしました。



館地区排水改善施設



青戸ベイサイドヒルズ

## 議会活動報告

### 原子力発電対策特別委員会

日 時 平成30年2月27日

場 所 おおい町役場全員協議会室

出席者 委員12名および議長

説明者 関西電力㈱ 大飯発電所

吉田所長他3名

#### 聴取内容

#### 1. 神戸製鋼所等の不適切行為 に関する調査結果について

①神戸製鋼所およびそのグループ会社並びに三菱マテリアル子会社が製品検査データを書き換えていたこと。

②発電所では、ア安全上重要な部位

①燃料集合体②新規制基準対応として新規に設置した設備などの施設において、検査データの確認や製造工場の立入り等を29年10月から30年1月にかけて実施したこと。

③30年2月1日に県および町に対して、神戸製鋼所関連の製品については「不適切行為のあつ

た製品は使われていない」、三菱マテリアル関連の製品については「製造データと照合できた物は機能・性能に影響はなく、製造時データとの照合ができなかったものは取替えた」との報告を行ったこと。

#### 2. 大飯発電所3・4号機の今後の工程について

①3号機は、2月9日から13日にかけて燃料装荷を行い、3月中旬に原子炉を起動し、4月上旬から本格運転を行う。

②4号機は、4月上旬から燃料装荷を行い、5月中旬に原子炉を起動し、6月上旬に本格運転を行う計画である。

本委員会では今後とも、科学的根拠に基づいた安全確保について説明を求め確認を行っていきます。

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡

## 議員報酬等検討会

地方議会の議員報酬額は、それぞれの自治体が決定するもので、全国および県内でも、各自治体によって異なっている状況です。

おおい町議会では、議員報酬等について検討を行うプロジェクトチーム（議員報酬等検討会）を結成し、現在の議員報酬等が、時代や社会環境、議員の活動内容にあっているかの検討を行っています。

### 検討事項

① 地方分権一括法施行以降、地方事務は増加しており、それに伴う議員活動の対象範囲が増大していること

② 社会環境の変化に伴い、町行政の多様化が進む中で、住民が求める議会の役割も変化していることから、住民主体の行政運営への政策提言やチェック機能の強化等、住民が求める議会活動に対しての適切な報酬の在り方

③ 人口減少や人口構造の変化が進む中で、議員のなり手

不足が問題になってきていることから、将来的ななり手不足対策や、様々な年齢層・分野からのバランスのとれた議会構成を考慮したうえでの報酬の在り方

④ 国の政策や社会情勢に対応する議員活動に対しての報酬の在り方

これらのことを課題として、現在検討を行っています。

検討にあたり、各区長さんに議員報酬についてのアンケートをお願いしました。ご協力いただきありがとうございました。

検討内容やまとめについては、今後、報告させていただきます。

### 検討会構成員

座長 今川 直樹  
副座長 原田 和美  
中本 茂  
松井 榮治  
森口 精治  
早川 正己

## ICT化検討プロジェクトチーム報告

おおい町議会では、議会運営委員会の付託を受け、ICT化検討PTを立ち上げ、会議におけるICTを活用したペーパーレス導入の是非について調査研究を行ってきました。

### 目的

議会においては、各定例会や臨時議会、全員協議会や月例会等の各種会全員に配布されます。

その際の紙の量は膨大であり、資料の印刷に要する労力も大変大きくなっています。

議会改革や行政改革の推進という面から、ペーパーレス化について調査することになりました。

### プロジェクトチーム構成員

座長 尾谷 和枝  
副座長 細川 正博  
森内 正美  
猿橋 啓一  
辻 徹  
藤原 義隆

### 調査研究内容

#### ・主な効果や利点

- ① 会議の効率化
- ② 効率的な資料保管と活用
- ③ 業務の効率化
- ④ 経費の削減
- ⑤ 環境保護（省資源・省エネルギー）
- ⑥ 情報管理

#### ・導入時の課題

- ① 保存媒体としての信頼性
- ② 技術力の差
- ③ 行政との情報共有

### 提言内容

コスト削減や環境保護、業務の効率化や機密情報の漏洩防止という観点から、これからも進化し続ける情報社会に遅れることなく議会改革を進める上でペーパーレス化は必要であり、導入を検討されるよう提言しました。

# 追跡

## あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

当初予算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡



### 山林の境界整備について

山林境界を知る世代も減少しており、早急に対応すべきでは。町の進捗状況と今後の実施計画は。  
(平成27年12月議会 藤原 議員)

副町長、課長答弁



### 関係機関と連携・協力し実施する

町の森林面積は1万8千㊦あり、現在、約800㊦が完了している。今後、毎年500㊦、10年間で5千㊦を実施していきたい。

どうなった？

### 平成30年度にも400㊦実施

平成28年～平成29年に約800㊦を実施しており、平成30年度も引き続き実施する予定。



山中での立ち会いによる境界確認を実施



未来仕掛け人会議（流星館にて）



### 若手の育成と若手の官民連携を

若い人たちがリーダーとして、まちづくりに関わるような人材育成を行うべきではないか。  
(平成27年12月議会 細川正博 議員)

副町長答弁



### 今あるモデルケースを今後を活用していく

「おい町の未来を若者で考えるまちづくりワークショップ」をひとつのモデルケースとして、今後活かしていく検討を進める。

どうなった？



### 「おい町未来仕掛け人会議」が発足

観光PR大使と町の未来を考える討論会を開催し、「仕掛け人だより」を発行する等、活動を展開している。

# 輝く人

## 海で遊ぶ 海に暮らす 海に集う



うみんぴあ大飯マリーナ

阿部 弘さん

に、平成18年4月から一足先に単身で、その後6月からは家族全員でやってきました。

**Q** おおい町で暮らしてみても感想をお聞かせください。

**A** 私は生まれも育ちも関東ですが、仕事や私事でお付き合いする方々はとても親切で、家族もとても安心して暮らしています。

**Q** おおい町のお気に入りがあれば教えてください。

**A** おおい町は、自然の豊かさ、子ども達のおおらかさ、豊富な海の幸・山の幸の食文化が家族全員のお気に入りです。

**Q** これからのおおい町に求めることがあれば教えてください。

**A** うみんぴあ大飯マリーナを、観光拠点としてさらに賑いづくりを進めるために、今後もご指導いただきたいと思います。

**Q** おおい町に来られたきっかけは何ですか。

**A** うみんぴあ大飯マリーナ開設準備のため

ます。

**A** 私が長らく勤めていた湘南のマリーナと比べても、素晴らしい立地と設備のあるマリーナです。どなたでも参加できるボートの展示試乗会やヨットレース・パレードを実施し、地元の皆様にも気軽に楽しんでいただけるイベントも開催しておりますので、皆様ぜひご参加ください。お待ちしております。



## 議会の傍聴にござんせ

行政ポイント 10P  
発行事業です

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。今回の定例会は6月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

6月議会の日程

会期：6月8日から26日まで（19日間）  
本会議：6月8日（議案提案理由説明）、20日（一般質問）、26日（採決）  
委員会：14日（総務・産業建設常任委員会）、8日・11日（予算決算常任委員会）・13日（原子力発電対策特別委員会） ※日程は変更となる場合があります。

### 編集後記

佐分利川の桜、南川の桜、それぞれの表情があります。見比べてみると、それぞれの良さがよくわかります。車でさっと通りすぎてしまう事が多いですが、皆様じっくり鑑賞されましたでしょうか。

おおい町自慢の満開の桜を、町内外にかかわらず、たくさんの人に見てもらいたいものです。

さて、新町長が決まりました。廃炉による財政への影響や少子高齢化、人口減少など問題は山積です。おおい町の将来に向けて、しっかりと取り上げられていなければなりません。議会としても、町民の皆様のご意見を聞きながら、より良い町づくりを力尽くしてまいりますので、今後ともよろしく願っています。（辻記）

